

令和 6 年度

網走市における景気動向調査

<第Ⅲ四半期>

# 報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

# 目 次

## 第1章 調査要領

|     |              |   |
|-----|--------------|---|
| 1-1 | 調査時点及び調査対象期間 | 1 |
| 1-2 | 調査対象         | 1 |
| 1-3 | 調査方法         | 1 |
| 1-4 | 回収状況         | 1 |

## 第2章 概況

|     |        |   |
|-----|--------|---|
| 2-1 | 全体の動き  | 2 |
| 2-2 | 業種別の動き | 3 |
| 1)  | 建設業    | 3 |
| 2)  | 製造業    | 4 |
| 3)  | 卸売業    | 4 |
| 4)  | 小売業    | 5 |
| 5)  | サービス業  | 5 |

|     |            |   |
|-----|------------|---|
| 第3章 | 業種別設備投資の状況 | 6 |
|-----|------------|---|

|     |            |   |
|-----|------------|---|
| 第4章 | 業種別経営上の問題点 | 7 |
|-----|------------|---|

|     |                 |   |
|-----|-----------------|---|
| 第5章 | 業界の景気動向等その他のご意見 | 8 |
|-----|-----------------|---|

# 第1章 調査要領

## 1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：令和6年10月1日（火）～令和6年12月31日（火）
- (2) 調査対象期間：令和6年10月～12月期実施、及び令和7年1月～3月見通し

## 1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（24件）、卸売業（20件）、小売業（40件）、サービス業（44件）の158社を調査対象とした。

## 1-3. 調査方法

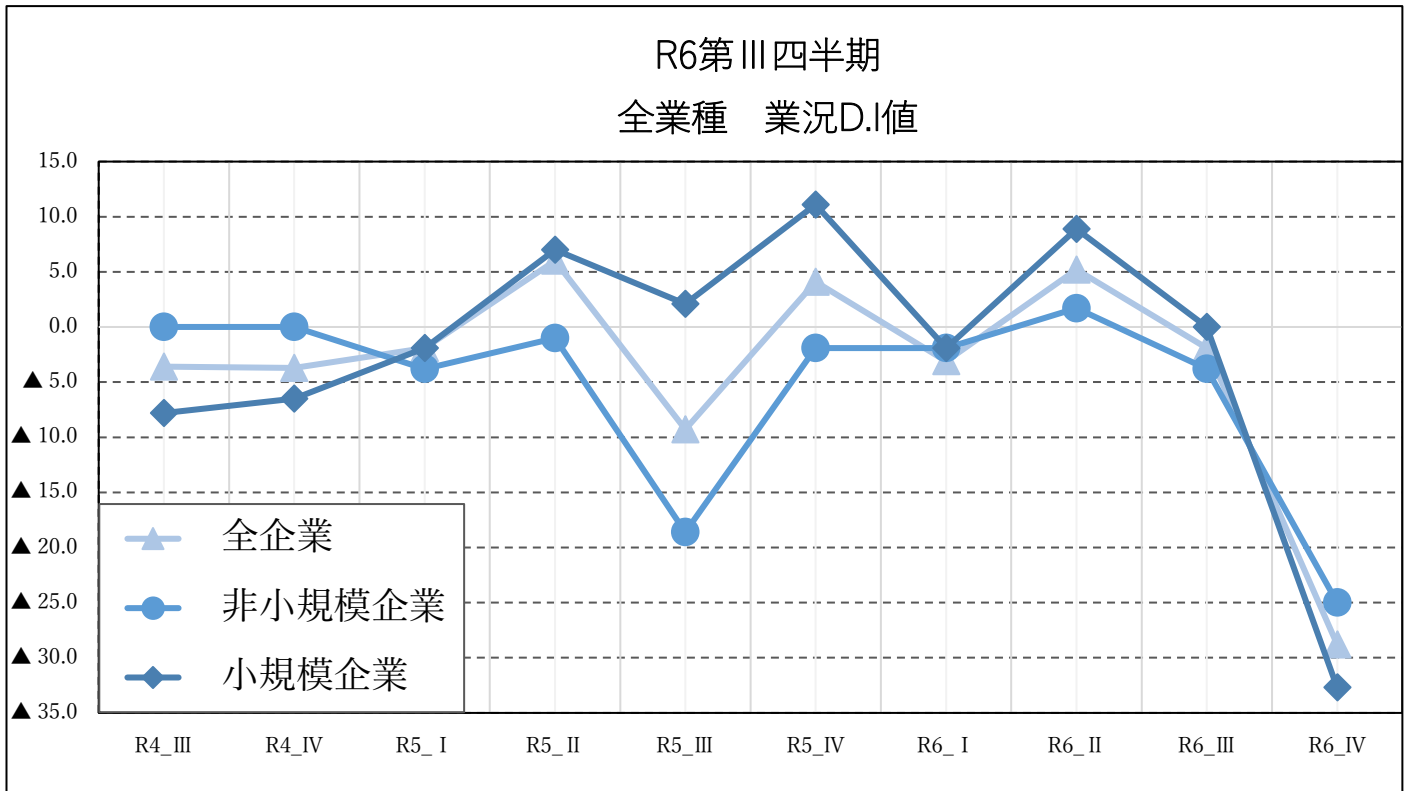
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット（Google フォーム）による返信にて回答を受ける。

## 1-4. 回収状況

| 業 種 \ 企業数 | 対象企業数 | 回答企業数                         | 回 答 率  |
|-----------|-------|-------------------------------|--------|
| 建 設 業     | 30件   | 24 件（非小規模企業： 10 件、小規模企業 14 件） | 80.0 % |
| 製 造 業     | 24件   | 13 件（非小規模企業： 6 件、小規模企業 7 件）   | 54.2 % |
| 卸 売 業     | 20件   | 8 件（非小規模企業： 4 件、小規模企業 4 件）    | 40.0 % |
| 小 売 業     | 40件   | 29 件（非小規模企業： 16 件、小規模企業 13 件） | 72.5 % |
| サービス業     | 44件   | 30 件（非小規模企業： 16 件、小規模企業 14 件） | 68.2 % |
| 合 計       | 158件  | 104 件                         | 65.8 % |

## 第2章 概況

### 2-1. 全体の動向



令和6年度第Ⅲ四半期（10月～12月）の全企業業況は、前年同期に比べ、「好転企業」21.2%、「悪化企業」23.1%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は△1.9となり、前回（D.I.値5.2）に比べ、その差は7.1ポイント悪化傾向となっています。

非小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」23.1%、「悪化企業」26.9%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は△3.8となり、前回（D.I.値1.7）に比べ、その差は5.5ポイント悪化傾向となっています。

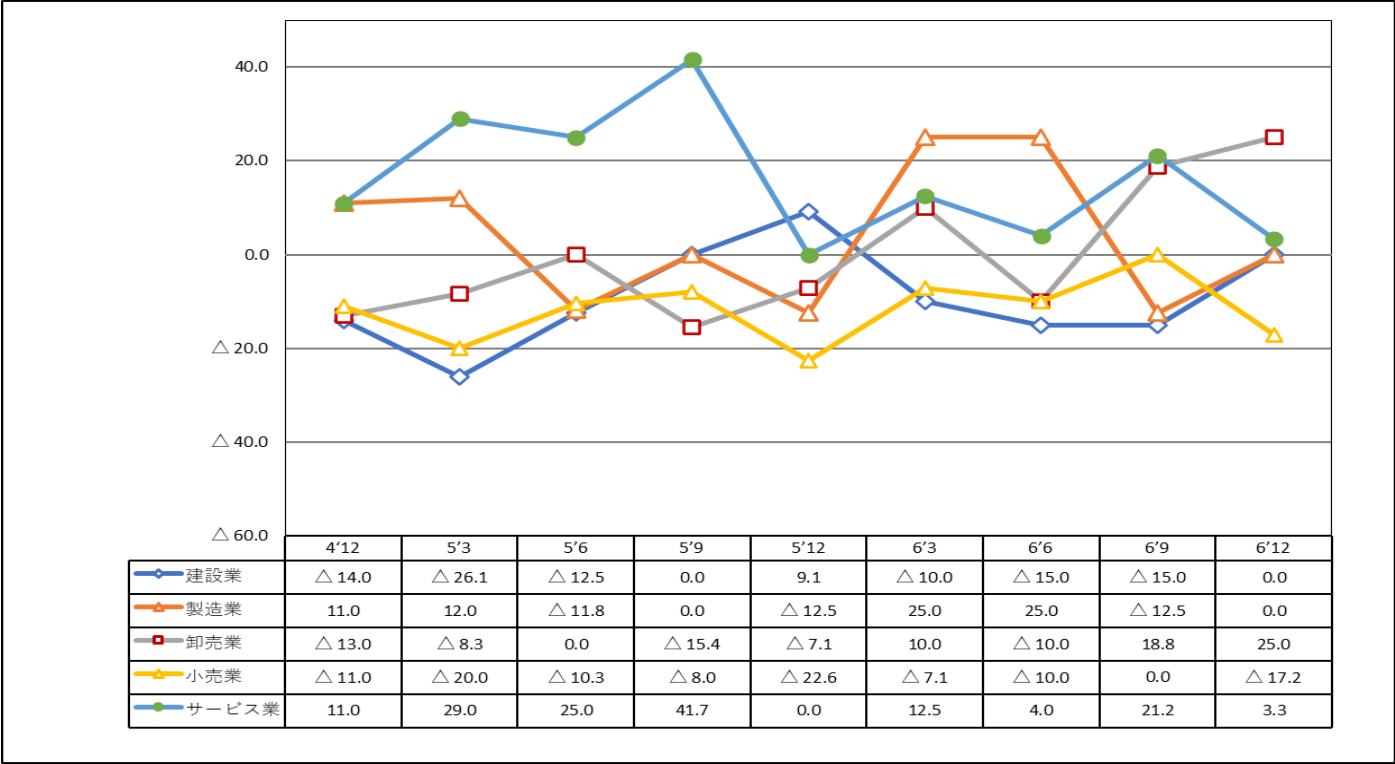
小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」19.2%、「悪化企業」19.2%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は0.0となり、前回（D.I.値8.9）に比べ、その差は8.9ポイント悪化傾向となっています。

次期（1月～3月）見通しとして全企業の業況は、今期に比べ「好転企業」4.8%、「悪化企業」33.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は△28.8となり、今期（D.I.値△1.9）に比べ、その差は26.9ポイント悪化傾向となっています。

非小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」7.7%、「悪化企業」32.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は△25.0となり、今期（D.I.値△3.8）に比べ、その差は21.2ポイント悪化傾向となっています。

小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」1.9%、「悪化企業」34.6%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は△32.7となり、今期（D.I.値0.0）に比べ、その差は32.7ポイント悪化傾向となっています。

2-2. 業種別の動向



1) 建設業

完成工事高

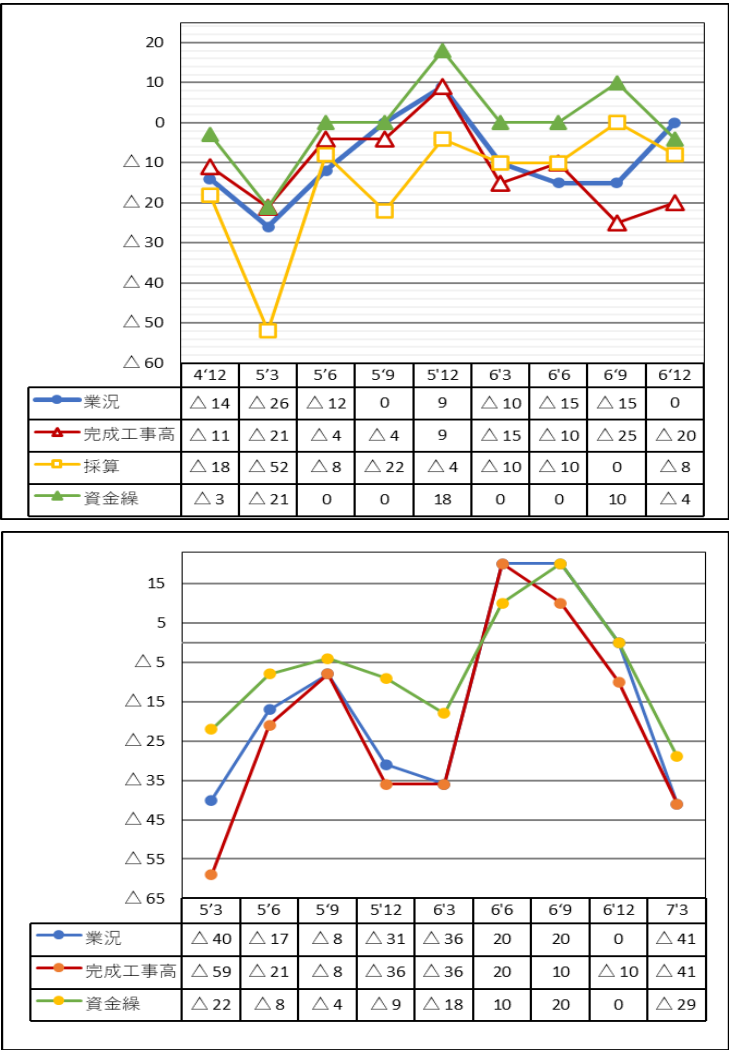
前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」37.5%、D.I.値△20.8 と前年同期（9.1）に比べ 29.9 ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」20.8%、「悪化企業」29.2%、D.I.値△8.3 と前年同期（△4.6）に比べ 3.7 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△41.7（前年同期 D.I 値△36.4）、完成工事高 D.I.値△41.7（同△36.4）、資金繰り△29.2（同△18.2）と前年同期に比べ、全ての見通しで悪化傾向を示しました。



2) 製造業

生産高

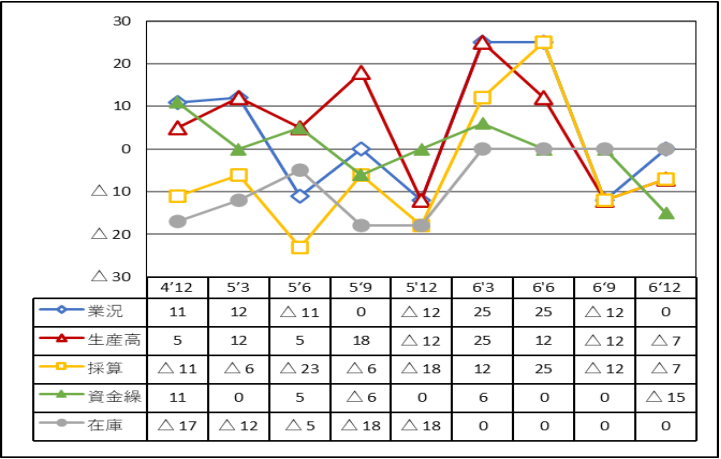
前年比で「好転企業」15.4%、「悪化企業」23.1%、D.I.値△7.7 と前年同期（△12.5）に比べ 4.8 ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」23.1%、「悪化企業」30.8%、D.I.値△7.7 と前年同期（△18.7）に比べ△11.0 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 0.0（前年同期 D.I 値△12.5）、生産高 D.I 値 7.7（同△18.8）、資金繰り 0.0（同△6.3）と前年同期に比べ、全ての見通しで好転傾向を示しました。



3) 卸売業

売上高

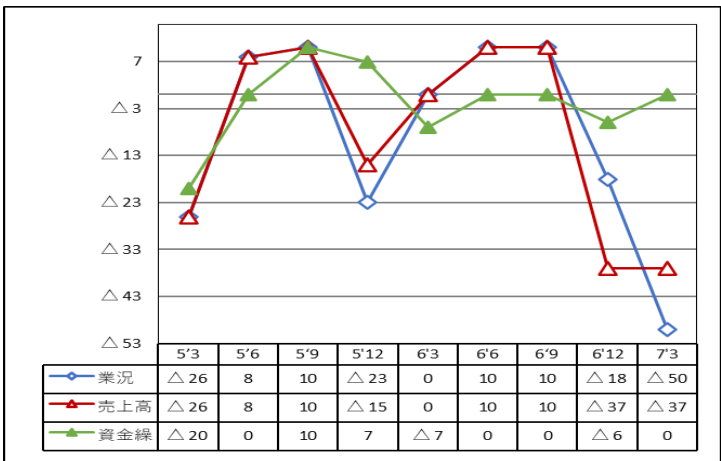
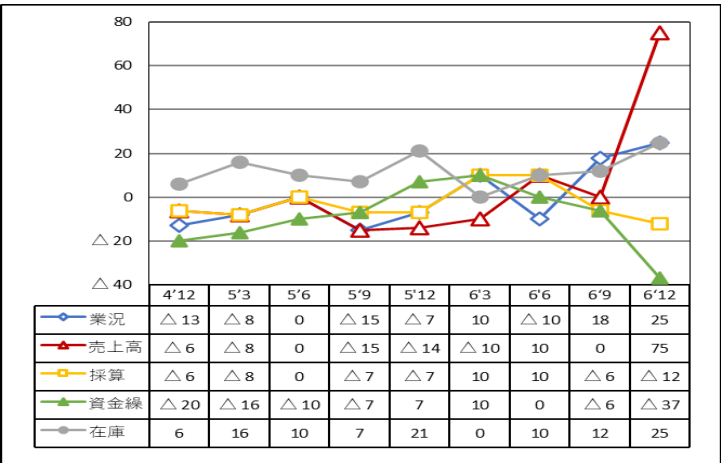
前年比で「好転企業」75.0%、「悪化企業」0.0%、D.I.値 75.0 と前年同期（△14.3）に比べ 89.3 ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」25.0%、D.I.値△12.5 と前年同期（△7.1）に比べ 5.4 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△50.0（前年同期 D.I 値 0.0）、売上高 D.I.値△37.5（同 0.0）、資金繰り 0.0（同 7.2）と前年同期に比べ、2つの見通しで悪化傾向を示しました。



4) 小 売 業

売 上 高

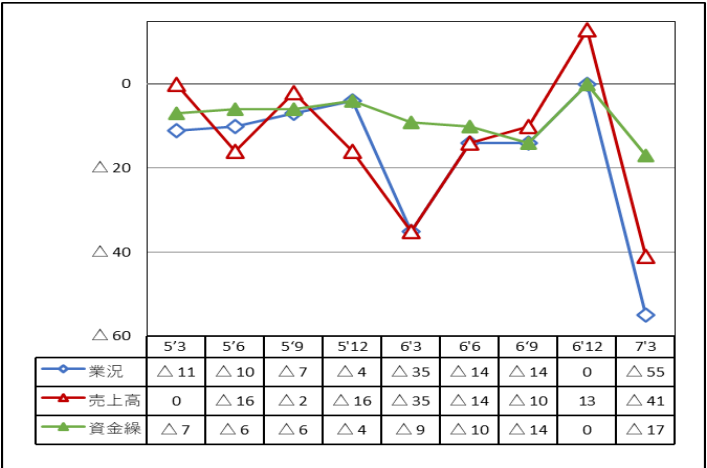
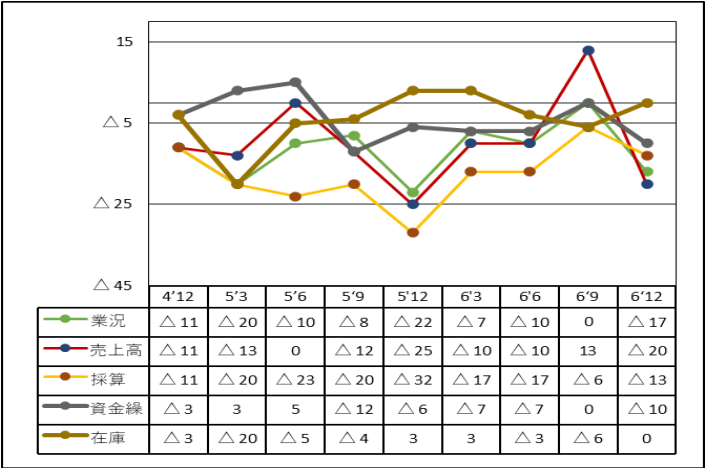
前年比で「好転企業」13.8%、「悪化企業」34.5%、D.I.値△20.7 と前年同期（△25.8）に比べ 5.1 ポイントの好転傾向を示しました。

採 算

前年比で「好転企業」6.9%、「悪化企業」20.7%、D.I.値△13.8 と前年同期（△32.3）に比べ 18.5 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△55.2（前年同期 D.I 値△35.5）、売上高 D.I.値△41.4（同△35.5）、資金繰り△17.2（同△9.7）と前年同期に比べ、全ての見通しで悪化傾向を示しました。



5) サービス業

売 上 高

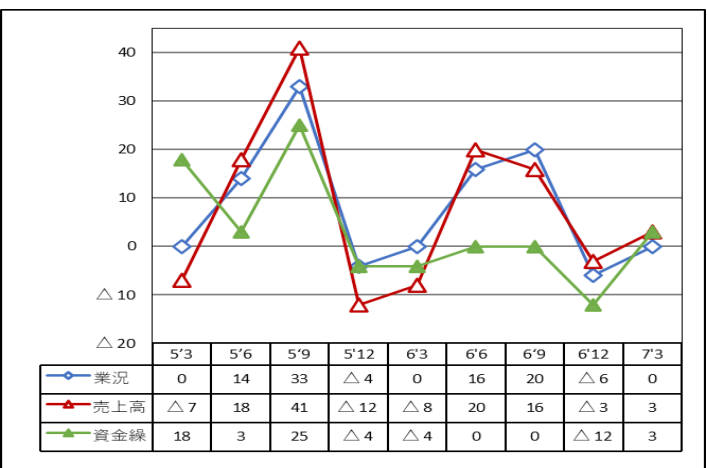
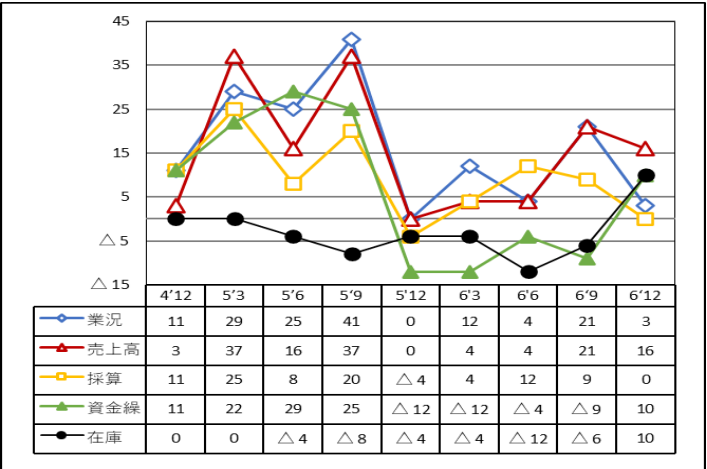
前年比で「好転企業」43.3%、「悪化企業」26.7%、D.I.値 16.7 と前年同期（0.0）に比べ、16.7 ポイントの好転傾向を示しました。

採 算

前年比で「好転企業」26.7%、「悪化企業」26.7%、D.I.値 0.0 と前年同期（△4.1）に比べ 4.1 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 0.0（前年同期 D.I 値 0.0）、売上高 D.I.値 3.3（同△8.3）、資金繰り 3.3（同△4.2）と前年同期に比べ、2つの見通しで好転傾向を示しました。



### 第3章 業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別設備投資の動向

|         | 建設業  | 製造業  | 卸売業 | 小売業  | サービス業 | 全業種   |
|---------|------|------|-----|------|-------|-------|
| 実施した    | 5 件  | 4 件  | 0 件 | 3 件  | 16 件  | 28 件  |
| 実施していない | 19 件 | 9 件  | 8 件 | 26 件 | 14 件  | 76 件  |
| 合 計     | 24 件 | 13 件 | 8 件 | 29 件 | 30 件  | 104 件 |

表2 業種別設備投資の内容

|        | 建設業 | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 全業種  |
|--------|-----|-----|-----|-----|-------|------|
| 土 地    | 0 件 | 1 件 | 0 件 | 0 件 | 1 件   | 2 件  |
| 店 舗    | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 1 件 | 2 件   | 3 件  |
| 販売設備   | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件   | 0 件  |
| 車輛運搬具  | 3 件 | 1 件 | 0 件 | 1 件 | 3 件   | 8 件  |
| 付帯設備   | 0 件 | 1 件 | 0 件 | 2 件 | 6 件   | 9 件  |
| OA機器   | 2 件 | 0 件 | 0 件 | 3 件 | 7 件   | 12 件 |
| 福利厚生施設 | 1 件 | 1 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件   | 2 件  |
| そ の 他  | 0 件 | 2 件 | 0 件 | 1 件 | 0 件   | 3 件  |
| 合 計    | 6 件 | 6 件 | 0 件 | 8 件 | 19 件  | 39 件 |

※複数回答あり

○全業種でみると設備投資に実施したのが28件、実施していないが76件となりました。前回は設備投資を実施したのが16件、実施していないが89件でありました。また、設備内容として最も多かったのはOA機器、付帯設備、次いで車輛運搬具となっています。前回は付帯設備が最も多く、車輛運搬具が2番目に多く占めていました。

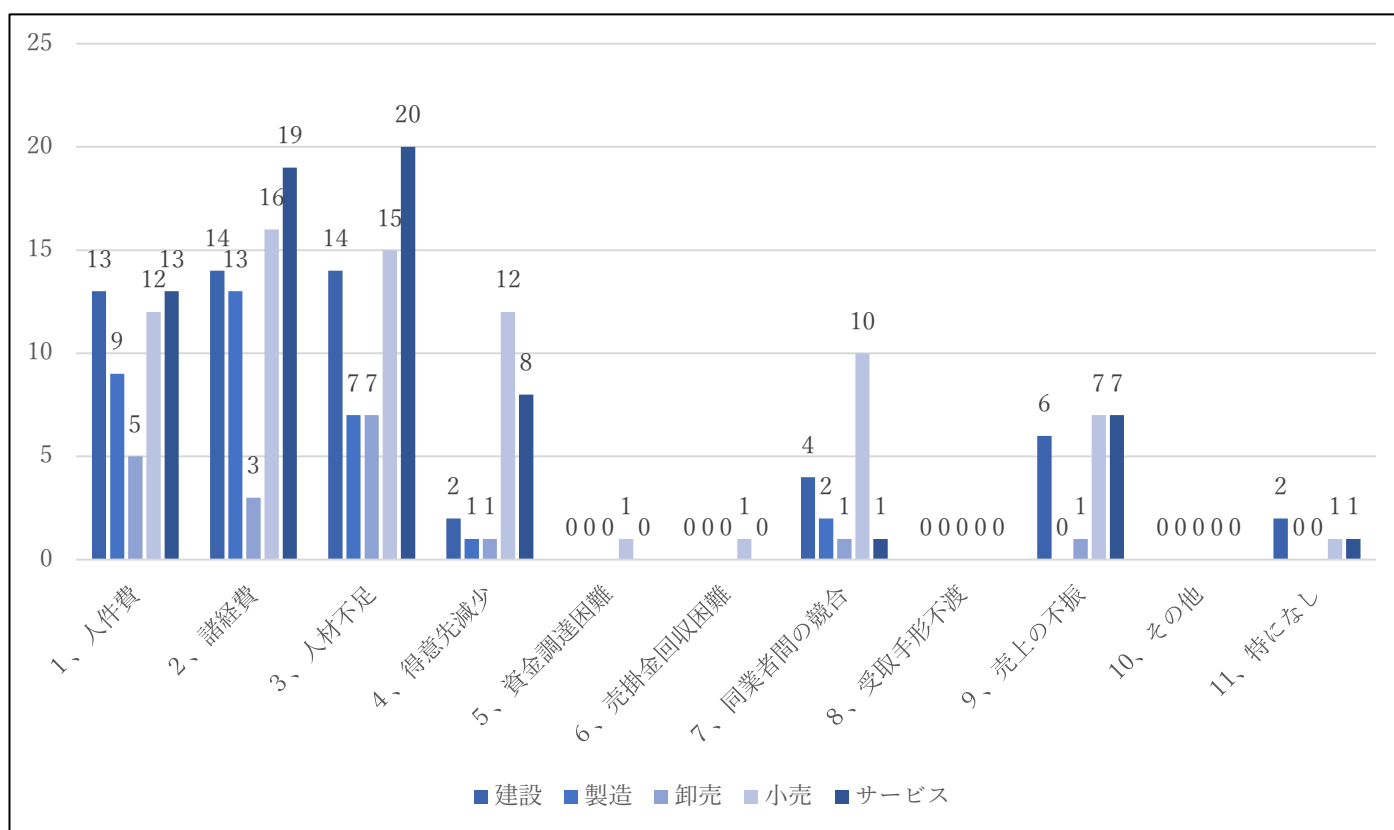


## 第4章 業種別経営上の問題点

表1 業種別上位

|       | 1 位          | 2 位  | 3 位           | 4 位                       | 5 位   |
|-------|--------------|------|---------------|---------------------------|-------|
| 建設業   | 諸経費増<br>人材不足 | 人件費増 | 売上の不振         | 同業者間の競合                   | 得意先減少 |
| 製造業   | 諸経費増         | 人件費増 | 人材不足          | 同業者間の競合                   | 得意先減少 |
| 卸売業   | 人材不足         | 人件費増 | 諸経費増          | 得意先減少<br>同業者間の競合<br>売上の不振 | -     |
| 小売業   | 諸経費増         | 人材不足 | 人件費増<br>得意先減少 | 同業者間の競合                   | 売上の不振 |
| サービス業 | 人材不足         | 諸経費増 | 人件費増          | 得意先減少                     | 売上の不振 |
| 全業種   | 諸経費増         | 人材不足 | 人件費増          | 売上の不振                     | 得意先減少 |

グラフ1 業種別件数



※複数回答あり

○全業種でみると前回調査に引き続き、上位5位までの順位に変動はありませんでした。また、業種別でみると、全業種で「諸経費増」、「人材不足」、「人件費増」が多く占めており、ほとんどの業種で「諸経費増」、「人材不足」が多く占めました。

## 第5章 業界の景気動向等その他のご意見

### ○業界の問題点について

#### 【建設業】

- ・人材不足により、受注機会の喪失。
- ・季節労働者の不足と超高齢化 80～87 歳が 5 人。昨年から 3 度の人件費増。現場の日曜日、休日が始まり、今まで雨天日を振り替えていたがだめになり、雪が降る前までに終了させるためには受注を控えなければならず売上が減ってしまった。
- ・人材不足（技術者、働き方改革（休日出勤・時間外労働）、人材教育（現意識改革）
- ・公共工事の発注が 9 月以降激減している。12 月～3 月の工事減により失業する作業員が増えている。今後このような状況が続くと競合する会社が増え倒産する会社が出てくる可能性がある。

#### 【製造業】

- ・用紙、材料の値上げが続く。
- ・原材料費、燃料費等、経費の増加が止まらず、価格転換も追いつかず、採算の悪化がさらに大きくなりそうです。
- ・主原料確保の争奪戦。
- ・人材確保が非常に苦戦しています。

#### 【卸売業】

- ・人材不足もあり新規開拓が困難、逆に得意先の見直しでこちらから取引中止をお願いする形が多い、一部ユーザーのパワハラ的な対応。
- ・若い人が少なく、経験値が低いので農家の人の要求に答えられなくなっているが、SNS などで情報を得ているが、地域の問題点が違うので苦労している様に思う。

#### 【小売業】

- ・人材不足、顧客の高齢化。
- ・インバウンド客が予測より少々少ない、国内客の購買マインドの低さ、景況感が悪すぎる。
- ・とにかく、商品(仕入れ)の価格が上がってます。

#### 【サービス業】

- ・人手不足が深刻化。今後の社会保険料の会社負担増に深刻な懸念。
- ・昨年実施された道民割の反動があり、自社での「どうみん謝恩割」を実施中、国内ツアーの減少及び知床の影響が影を落としている。
- ・Y シャツ着用義務企業の減少、リモート企業増に伴う売上減。
- ・コロナ以降国土交通省の予算が激減したままなかなか回復しない。
- ・人材不足に人件費増。従業員に休みを与えて店休み。そのためにお客様の食事の場所があまりない。
- ・業界全体の課題として技術職員の高齢化もあり、人材の確保・技術継承について当該業種・地域性の魅力を発信し、若手技術者の確保に繋げることが必要です。【若手技術者（新卒者）の採用・人材育成にかかる問題点】新卒者の地元企業への就職希望者が極めて少ない。採用条件において中央大手企業との格差是正を要する。現業を担当しながら人材育成を行う上司の負担が増加している。